平成20	年度(対19	事	務	事	業	評	価	表		作成	日互	平成 :	20 年 5	5 月 2	8 日		
部局名 産業活力部 所属名 農			農政課	政課			所	属長名	立石	ī ļ	電影	£ 48	3-1151	内線356	0		
1. 事	.事務事業の位置付け・概要(PLAN)																
コード	3799	事務事業名称	園芸振	長興事業								短縮二	コード	経常	3799	臨時	3800
予算区分	会計 01	一般会計		款 00	6 農林水	産業費		項	01	農業	費	目	04	園芸鳥	農産業費		
区分	☑ 自治事務	法定 □ 法定	受託事務	5 ##							事業補助金交付要綱、 進事業補助金交付要綱	八千代	八千代市経営構造対策事業補助金交付要				
	□ その他			118													
事業概	要(事務事業を	を開始したきっかけ	けを含めて	(記入)													
	園芸農産物等の産地体制を確立するため、市内で農業を営む者が組織する団体が園芸農産物等の産地体制を整備強化する事業を行う。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測							5本	の柱(i	章)	05	産業活力都市をめざし	て					
消費者から、安全・安心、高品質な園芸農産物を求める傾向がいる。						って	大	項目(節	i)	01	農業						
						総合		ュ 項 [01	農業						
計																	
					の 施 水項目 策 体						農業経営体の育成						
									03 高付加価値型農業の実現								
				系			01	営農・経営支援体制の強化									
							111	- 7	-	["	EE # 1/13B // - /B ///) E		1-				

計画事業の位置付けの有無

□計画事業期間

2. 事務事業の	目的・指標・実績(DO)							
対象 (誰を何を対象にし ているのか)	農家(野菜・果樹・施設園芸) 基幹農作物生産体制安定化事 芸農業振興活性化推進事業補助金(八千代市園芸協会)	業補助金(農事組合法人島田)	、経営構造対策事業補助金(農事組合	⇒法人島田)、園			
手段 (具体的な事務事業 のやり方、手順、詳 細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 基幹農作物生産体制安定化事業により、機械施設の整備を行して補助を行った。経営構造対策事業により、生産施設等の構想の確立を図る事業に対して補助を行った。園芸農業振興を消費者にアピールすることによって生産者の利益の向上と※平成20年度に計画していること: オリジナルブランド産地づくり支援事業により、こだわり農利用機械の整備に補助を行う。全国ナシ研究大会支援事業に千代市梨産業の一層の発展を図ることを目的として補助を行向上を図り、それを消費者にアピールすることによって生産補助を行う。	整備を行い 経性化の 経性化の を変われる をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	、効率的かつ安定的事業により、共進会業理解を深め、市内のおいるでは、 ある商品の生産・提 7回全国ナシ研究力 業振興活性化推進事	りな農業経営が地域農業の相当部分を持 会を実施し、園芸農作物の生産技術の内 内園芸農業の発展を図る事業に対して被 生性、販路の拡大など、産地づくりのが 大会における八千代市園地視察をさせる 事業により、共進会を実施し、園芸農作	担う望ましい農業 向上を図り、それ 補助を行った。 ために必要な共同 ることにより、 作物の生産技術の			
意図 (何を狙っているの か)	安全・安心、高品質な園芸農産物を安定供給する産地体制の確立							
結果 (どんな結果に結び つけるのか)	入力対象外							
- A			18年度	19年度	2 0 年度			

実施計画の 計画事業

03

園芸施設化の促進と果樹振興

計画事業費

千円

つけるのか)				18年度	19年	2 0 年度	
区分			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	農家	戸	941	941	941	0
対象指標	指標2	農家	戸	0	941	941	0
	指標3	農家	戸	戸 941		941	941
	指標 1	導入機械台数	台	8	2	2	0
活動指標	指標2	施設導入個数	個	0	2	2	0
	指標3	活動団体	団体	1	1	1	1
	指標 1	農事組合法人島田構成員数	戸	14	14	14	0
成果指標	指標2	農事組合法人島田構成員数	戸	0	14	14	0
	指標3	八千代市園芸協会加入農家戸数	戸	297	284	284	284
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- ド 3799	事務事業	美名称	園芸振興事業 所属名 農政課				
単位			当位	18年度	1 9	2 0 年度		
			丰匠	実績	計画	実績	計画	
		国	千円	0	0	0	0	
	財源内訳	県	千円	2, 804	42, 626	42, 025	1, 400	
		地方債	千円	0	0	0	0	
_		一般財源	千円	5, 187	19, 598	19, 353	3, 392	
事業		その他	千円	0	0	0	0	
費 (A)	主な事業費の内訳		先進的園芸農産産地づくり事業 6,731千円、経営構造対策事業 1,033千円、園芸振興活性化推 進事業200千円	普通旅費38千円、消耗品費14 千円、補助金62,172千円	普通旅費27千円、消耗品費14千円、補助金61,328千円	普通旅費38千円、消耗品費14 千円、補助金4,740千円		
人件費(B) 千			千円	10, 116. 7	10, 102. 7	9, 898. 3	9, 898. 3	
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	18, 107. 7	72, 326. 7	71, 276. 3	14, 690. 3	

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)		
評価 類型	評価事項	評価区分	理由
		☑ 結び付いている	市内園芸農業の維持、発展を図るために必要である。
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある	
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない	
		評価対象外事項	
		□ 達成している	市内園芸農業の維持、発展を図るためには継続的に行う必要がある。
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない	
目的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項	
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	補助事業であるため
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない	
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	□ 評価対象外事項	
		☑ 現状のままでよい	園芸農家が農産物のブランド化、共販体制の強化に取り組む事業の実態は目的に適合している。 。
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある	
		□ 評価対象外事項	
		□ 有効性向上の可能性がある	農産物の品質向上及び産地体制の整備を推進するため、その効率性・有効性での向上を難しい。
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある	
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある	
	入する。 	✓ 可能性がない	
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等	
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用	
効 率 性	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等業務プロセスの見直し	
生	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し	
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署)
		□ 上記以外の方法	事業 実施主体 名称 2 (所管部署)
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるから(一時的な経典機・声	□ ある	
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	□ない	

٦-	-ド 3799 事務事業名称	園芸振興事業	所属名 農政課					
		□ 改革・改善して継続 園芸農業技						
	⑥この事務事業の今後の方向性を選 択し、その詳細について右欄に記入	□ 手法プロセスの改革・改善□ 事業規模の拡大・縮小□ 統合・役割見直し□ その他						
今	する。	□ 廃止 						
今後の		□ 休止						
方向性		☑ 現状のまま継続						
1生		経 費	現状の経費で成果はでている。 経費を削減すれば成果が低下する。					
	 ⑦この事務事業の今後の経費・成果	削減不変増	h					
	の方向性について選択し、右欄に理	成						
	шешжую.							
		低下 □ □						
※内	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など 農業をとりまく状況や要求がますます厳しくなっていることから、本市園芸農業が継続出来るよう新たな取組に対して、市の支援を要望している。							
・農業を取り巻く環境はますます厳しくなるなかで、園芸農業が継続できるように必要な事業を展開し、農業経営の安定的な確立をめざす。 ・妥当な評価である。 長 コ メ ン ト								
評価調整委員会評価	□ 改革改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 □ 廃止 □ 休止 ☑ 現状のまま継続	当課の評価のとおり,現状のまま継続とする。						